

労働組合の組織と活動の歴史

労働組合の組織と活動の歴史は、明治初期に始まる。この頃、労働者は、労働条件の改善を求め、労働組合を結成し、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。労働組合の活動は、労働条件の改善を求め、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。

労働組合の組織と活動の歴史は、明治初期に始まる。この頃、労働者は、労働条件の改善を求め、労働組合を結成し、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。労働組合の活動は、労働条件の改善を求め、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。

昭和十一年十月十二日

労働組合の組織と活動の歴史

芳村第一四編

昭和十年二月六日

①
②

警視總監 小栗一雄

内務大臣 後藤 文夫 殿
 社会局長 官 殿

汽車製造株式会社東京支店、労働争議ニ関スル件

(第一報) 発生

発生一三一 解決
 使用労働者五八二内四五
 協議参加者五八三
 関係労働組合

10.2.8
6649

要旨

(一) 労働組合の組織と活動の歴史は、明治初期に始まる。この頃、労働者は、労働条件の改善を求め、労働組合を結成し、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。労働組合の活動は、労働条件の改善を求め、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。

(二) 労働組合の組織と活動の歴史は、明治初期に始まる。この頃、労働者は、労働条件の改善を求め、労働組合を結成し、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。労働組合の活動は、労働条件の改善を求め、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。

(三) 労働組合の組織と活動の歴史は、明治初期に始まる。この頃、労働者は、労働条件の改善を求め、労働組合を結成し、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。労働組合の活動は、労働条件の改善を求め、労働争議を繰り出した。労働組合の組織は、最初は、労働者の自発的な組織であったが、次第に、労働者の代表者による組織へと発展した。

概

<1>